

2023年12月21日

「巨樹・古木の診断イベント」実施について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、一般社団法人 日本樹木遺産協会（代表理事 森 義仁）に協賛し、地域の財産である**巨樹・古木の保全**に取り組んでいます。

今般、2023年11月に（一社）日本樹木遺産協会による**巨樹・古木の診断イベント**が実施されましたので、お知らせします。

診断イベントは、神奈川県三浦市の光照寺にて行われ、さまざまな世代の方が参加されました。光照寺にある推定樹齢 600 年以上の「スダジイ」について、樹木医が専用の計測器を使用し、樹木の内部がどのくらい腐朽しているかを調べました。

診断結果について、樹木の腐朽率は、75%でした。この腐朽率は、樹齢が高い樹木としてはよく見られますが、倒木の危険もあることから、当社は、（一社）日本樹木遺産協会への協賛を通じ、樹木医による定期的な診断・治療を行ってまいります。

当社は今後も、社会の一員として豊かな社会の実現につながるよう、地域に根ざした社会貢献・環境保護活動に努めてまいります。



診断イベントの様子

[本件と関連性の深いSDGsテーマ]



11 住み続けられるまちづくりを

目標 11

住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を

目標 13

気候変動に具体的な対策を



15 陸の豊かさも守ろう

目標 15

陸の豊かさも守ろう

以上